

# 高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種について

----- 予防接種を受ける前に読んでください -----

## 1 どんな病気でしょうか

新型コロナウイルス感染症は、2019年（令和元年）末に発生し、翌年から世界中に感染が広がった SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）による感染症です。

新型コロナウイルスにかかった人が咳やくしゃみなどをするにより、ウイルスを含んだ飛まつが口、鼻、目などの露出した粘膜に付着すること、飛まつによって空気中に広がったウイルスを含むエアロゾルを吸い込むこと、また、ウイルスを含む飛まつを直接接触したか、ウイルスが付着したものの表面を触った手指で露出した粘膜を触ることによって感染します。

流行は季節に関係なく、人の移動が多い時期（ゴールデンウィークや夏休み、年末年始など）に流行の拡大がみられます。

症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感（だるさ）などです。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障がいも起こることがあります。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

## 2 ワクチン接種について

新型コロナワクチンについては、有効性や安全性が確認された上で薬事承認されており、さらに、国内外で実施された研究などにより、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する重症化予防効果が認められたと報告されています。

ただし、ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する可能性はあります。例えば、ワクチンを接種しても免疫がつくまでには1～2週間程度かかり、免疫がついても発症を予防する効果は100%ではありません。また、時間が経過すると発症予防効果は低下することが知られており、こうした効果の持続期間についても留意する必要があります。

法律で決められた新型コロナウイルス感染症予防接種の対象者は、65歳以上の人及び60歳以上65歳未満の人であって、心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい有する人です。

しかし、接種を受けることの義務はなく、本人が希望する場合に限り接種を行います。希望しない人には、原則として接種をすることはできません。

## 3 新型コロナワクチンの副反応

新型コロナワクチンの主な副反応として、接種後に注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。

稀な頻度でアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生したことが報告されています。もし、アナフィラキシーが起きたときには、医療機関ですぐに治療を行うこととなります。また、mRNAワクチンでは、頻度としてはごく稀ですが、心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。

## 4 予防接種による健康被害救済制度について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での一定以上の治療が必要になったり、生活に支障があるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。
- (2) 給付内容には、医療費、医療手当、障がい年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料の種類があり、健康被害の程度に応じて支給されます。
- (3) ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因（予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等）によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

\* 給付申請の必要が生じた場合には、診察した医師及び保健所保健予防課にご相談ください。

## 5 接種できない人

- (1) 明らかに発熱のある人  
(一般的に、体温が37度5分以上の場合を指します。)
- (2) 重篤な急性疾患にかかっている人  
(急性の病気で薬を飲む必要のあるような人は、その後の病気の变化が分からなくなる可能性もあるので、その日は見合わせるのが原則です。)
- (3) ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなどの重度の過敏症(アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状)を起こしたことがある人
- (4) その他、医師が不適切な状態と判断した場合

## 6 受けるにあたって

- (1) 接種場所で必ず体温を測定し、診察を受けてから接種します。
- (2) 予診票は接種してもらう医師への大切な情報です。責任をもって記入してください。
- (3) 接種当日は、激しい運動や深酒はさけてください。  
当日の入浴はかまいませんが、注射した部位をこすらないようにしましょう。

\* 接種直後から30分間は、体調の変化に注意してください。  
(稀にですが、急激なアレルギー反応として顔がはれる、全身にじんましんが出る、息が苦しいなどの症状が現れることがあります。)

\* 普段とかわった症状がみられたときは、すぐに医療機関に連絡してください。

### 【問い合わせ先】

福山市保健所 保健予防課

電話 (084) 928-1127